

商品画像データ・商品情報データベース構築

～製配販のDXを支える商品情報～



背景

小売店舗では、品出し（陳列）、在庫管理、レジ決済業務に多くの時間を費やしており、人手不足解消と業務効率化の打ち手としてロボット導入や各種自動化が考案されていますが、データ取得の煩雑さが導入の阻害要因の一つとなっています。本研究では、商品画像や商品の詳細情報を容易に入手できる社会インフラの構築に取り組んでおり、技術開発を進めるとともに、小売業界を巻き込んだ社会実装も推進しています。

目指す将来像

AI技術とロボット技術を活用し、店舗従業員及び利用者にとって使いやすい店舗となります。

陳列・棚卸・決済などロボット活用の機会を広げて、人手不足解消を推進するとともに、欠品予防による販売機会損失の低減や顧客案内等への従業員の振り替えによる顧客満足の更なる向上を目指します。



プロジェクトの取り組み

● 撮像装置・ソフト開発

全方向からの学習用画像を簡単に一度に取得できます。

● データ連携基盤の開発

画像データや商品マスターデータなどと相互に連携し同時に取得できるレジストリです。

● エコシステム形成戦略検討

業界有識者・CIO研究会・産総研との連携体制で、開発品の業界波及を促進します。

